

2017年10月23日
日立金属株式会社

配管機器事業のモノづくり力強化に向けた設備投資

日立金属株式会社（以下、日立金属）は、配管機器事業の基盤強化に向け、桑名工場（三重県桑名市）の生産ラインの増強・合理化投資を実施します。設備投資額は約 30 億円です。

1. 投資の目的

配管機器を取り巻く環境は、省エネルギー対応ニーズの高まりに伴い、エネルギーの管理・制御等といった社会インフラに対する要求の高度化、電力・ガス自由化に伴う顧客の総合エネルギー会社への転換等、大きな変換点を迎えています。

日立金属の配管機器事業では、ガス用の鋳物配管継手、ステンレス製フレキシブル配管システム、ポリエチレン配管システムなど社会インフラを支える製品を中心に持続的な成長をめざしています。その一環として、2017 年 10 月に継手、バルブ、マスフローコントローラ事業を一体運営化することで、経営資源の集約と意思決定のスピードアップを実現するとともに、開発・製造・営業のそれぞれの機能を強化し、顧客ニーズへの対応力の向上に向けて体制を強化してきました。

こうした中、さらなる配管機器事業の強化に向け、モノづくり力強化を目的として桑名工場に総額約 30 億円の設備投資を実施いたします。本投資では、主にフレキシブル配管システムの生産能力の増強と鋳物継手の生産性改善に向けた合理化を行います。

開発・製造・営業体制の強化やモノづくり力強化といった成長施策とともに、長年培った材料技術やさまざまな事業分野への製品提案力および海外拠点等を活かすことで、2021 年度売上規模を 2016 年度比で約 4 割増となる 700 億円をめざします。

日立金属配管機器事業は、今後とも安全・安心な配管システムを提案することによる付加価値創出とグローバルな事業展開を加速し、持続的に成長していきます。

2. 投資の概要

- | | |
|---------|--------------|
| （1）対象拠点 | 桑名工場（三重県桑名市） |
| （2）投資金額 | 約 30 億円 |
| （3）稼働時期 | 2018 年度 |

以 上